

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協立いつくしみの会	代表者	石山 健治	法人・ 事業所 の特徴	サービ付き高齢者向け住宅とデイサービスを併設し、木の温かみのある家庭的な雰囲気 の建物です。 個人に合わせた食事形態やカロリー、塩分、カリウム制限を行い健康に配慮した食事 提供をしています。認知症になっても一人一人に合わせ工夫しながらできることを提 供し、レクリエーションや体操にも取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム かりぶ	管理者	松田 梨香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認			職員13名全員で取り組んだの を確認した	
B. 事業所の しつらえ・環境			不快な音や臭いはなく、日中は玄 関に鍵をかけていない。多くは挨拶 してくれるが、一部の人ができ ていない。	利用者や家族、来客者にきちんと 挨拶する
C. 事業所と地域の かかわり	ぼろかカフェ開催や地域の行事・ イベントなどへの参加から地域 交流を継続し、顔のつながりを増 やしていく	ぼろかカフェ運営に職員が関る、 ケアセンターで夏祭りを企画するこ とを通じて職員が地域と関わる機 会が増えている	困りごとへの相談がしやすい場 所かはわからないが、ぼろかカフ ェを通して相談のきっかけ作り はしている	職員がぼろかカフェの運営にも 関わりながら地域とのつながり 作りをしていく
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			会議ではないが、地域での生活を 支えるために住んでいる地域の方 との関りはできている。	
E. 運営推進会議を 活かした取組み			町内でも高齢夫婦、一人暮らしが 増え課題となっていることは共 有しているが、事例検討や一緒と 取り組むには至っていない。	

F. 事業所の 防災・災害対策	町内と防災・災害時に支えあえる 関係作りのため地域課題を共有 する	昨年の地震後の停電は、センター 内での対応に精いっぱい地域 への対応まではできなかった。	立地から風水害の被害は考えづ らく火災や地震への対応が必要。 避難場所の小学校が閉校になり 場所が遠くなった。まずはセンタ ー内の対応に備える必要があ る。	昨年の地震後の停電振り返りか ら必要な防災備品が何か検討し、 購入していく
--------------------	---	--	---	---